

屋根からの雪崩対策

(植栽保護のために)

目的、他

- ・ 我が家の植栽は、隣家沿いフェンスにサツキを目一杯植え込んでいるが、大雪の時には、屋根からの落雪で折角の植栽が悲惨なことになることがある。(毎年ではないが・・・)
- ・ 2 階屋根からの雪が、1 階部と合流して勢いよく滑り落ちる雪崩から、植栽のサツキを守りたい。

範囲 3.6m 横 × 1m 縦

材料 足場用鋼管 (STK500) SPF 1 × 4

塗装 屋外用木部保護塗料 色 : オーク

費用 16,701 円

完成 : 2011 年 12 月

↑ こうして二階から眺めると、確かに良く滑りそうな感じだが、実際に滑り落ちる様子は一度も見たことがない。夜中に「ドッスン」というスゴイ音は何回か聞いたことはあるが・・・。



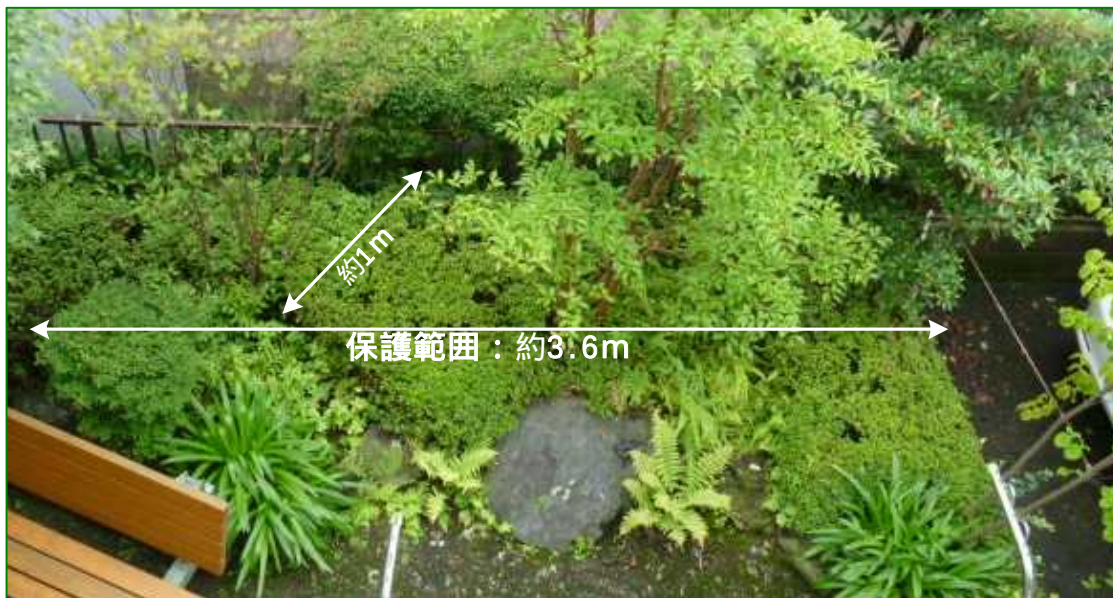
スカスカが目立つサツキ



果たして効果は・・・

裏話

- ・ お隣さんの軒先から我が家の境界まで、約 1 m 程度 (躯体壁まで 1.4 m) も離れているのに、雪が境界を越えて雪崩 (なだれ) のように落ちてくるようになったのは、ここ数年の大雪の時である。
- ・ スレート屋根に塗装を施した後が特に滑り易くなるようだが、2 階屋根から雪の塊が、1 階屋根で合流加速して滑り落ちるようで、屋根に “ 滑り止め ” が付いていないことが最大の原因なのかも・・・。
- ・ 1 週間もすれば消えてしまう 20 センチ程度の雪なのに、サツキの上に覆い被ったドカ雪は、小枝を引き裂いたりへし折ったりしたまま、1 ヶ月以上も固まり凍りついてしまう。(水道水ではなかなかと融かしきれない。)
- ・ サツキの中はなんとも可哀想な状態で、お陰で春の花付きもまばらな状態になってしまう。
- ・ “ 滑り止め ” の施工を、費用折半でも構わないからお隣にお願いしようかと悩んだが、30 年以上この状態で過ごしてきたお宅であり、後から越してきて庭作りした自分が自己防衛するのが無難かなと判断。
- ・ 雪崩対策といっても普段は取っ払っておきたいので、分解組立が簡単な構造が望まれるが、雪崩のエネルギーを考えると、相当の強度が必要そうなので、足場用の鋼管で枠を組み、その上に板を並べることにした。(長尺鋼管以外は、物置に収納できることも絶対条件である。)
- ・ それにしても、足場鋼管は STK-500 だと思うが、えらく強靱なのには往生した。手持ちの簡単な道具では中々切断出来ず、2 ヶ所切るだけで 30 分以上もかかる始末。このパイプの切断は二度とゴメンだな。
- ・ 植栽の見栄えは悪くなったが、大雪警報が出てから板を並べれば済むので今年の大雪は密かに楽しみである。



単管 4m 5本 @1479×5 = 7395 (口) 2本は1mにカット
 単管 1m 2本 @469×2 = 938 (口)
 直交クランプ @148×13 = 1924 (口)
 自在クランプ @148×4 = 592 (口)
 固定ベース @259×4 = 1036 (口)
 エンドキャップ @29×6 = 174 ここまで合計 ¥12,059

SPF 1×4 (19×89) 1.8m 7本 @189×14 = 2646
 SPF 1×2 (19×38) 1.8m 4本 @179×4 = 716 (2本は立木の隙間用)

コースレッド：在庫あり
 塗料(木部保護塗料 ニッペ 色オーク) @1280 (コメリ)

費用合計 ¥16,701 (単管カット代¥200含まず)

参考
φ48.6単管比較 (ロイヤル&コーナン)

6m なし (口)	@2480 (コ)
5m @1859 (口)	@2080 (コ)
4m @1479 (口)	@1580 (口)
2.4m @1190 (口)	
2.0m なし (口)	@920 (コ)
1m @469 (口)	@480 (コ)

ダイカストY型 3直交 @979 (口)

